

目次・編集方針



川崎重工について

- 1 価値創造の最前線
- 3 挑戦のあゆみ
- 5 未来への約束
- 7 目次・編集方針
- 9 カワサキグループ・ミッションステートメント
- 10 サステナビリティ経営方針
- 11 事業規模

ポイント

「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」——創業者 川崎正蔵の精神を受け継ぎ、川崎重工グループは設立以来120年以上にわたって、社会課題の解決に貢献してきました。川崎重工グループは、これからも挑戦者として「つぎの社会へ、信頼のこたえを」届けていきます。

マネジメントメッセージと戦略

- 13 グループビジョン2030
- 15 重要課題(マテリアリティ)
- 17 トップメッセージ
- 23 担当役員メッセージ——財務
- 25 財務戦略
- 27 担当役員メッセージ——技術・知財・DX
- 29 技術・知財・DX戦略
- 31 担当役員メッセージ——人財
- 33 人財戦略
- 35 会長・社外取締役座談会

ポイント

「成長性の追求」「適正な利益」「安定性・シナジー」を方針に掲げた「グループビジョン2030」を2020年11月に策定。新たな時代の社会課題を見据えた成長シナリオにそって、ポートフォリオ改革・組織改革にも取り組み、高収益体質の実現を目指します。

戦略の実践とパフォーマンス

- 39 価値創造プロセス
- 41 3つの注力フィールドにおける目標と実績
- 43 エネルギー・環境ソリューション
- 43 水素社会の到来
- 47 CO₂排出ゼロに向けた取り組み
- 51 TCFD提言に基づく情報開示
- 53 TNFD提言に基づく情報開示
- 55 安全安心リモート社会
- 57 近未来モビリティ

ポイント

脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など、さまざまな社会課題を見据え、3つの注力フィールドを設定。マテリアリティの中で「事業を通じて創出する社会・環境価値」として最重要課題と位置付けています。

- 59 事業ポートフォリオ (At a Glance)
- 61 航空宇宙システム
- 63 車両
- 65 エネルギーソリューション&マリン
- 67 精密機械・ロボット
- 69 パワースポーツ&エンジン

ポイント

既存事業においては、成長軌道へと回帰したこの流れを確固たるものとし、2027年度までに事業利益率8%、2030年度までに10%超を実現するために、各事業部門で達成に向けたロードマップを作成しています。両利きの経営を推進しながら「グループビジョン2030」の達成を目指します。

事業活動を支える基盤

- 71 重要課題(マテリアリティ)のKPIおよび実績
- 73 人財活躍推進
- 77 人権デューデリジェンス
- 79 コンプライアンス/情報セキュリティ
- 81 コーポレート・ガバナンス
- 91 役員体制

ポイント

川崎重工グループでは、社会課題と自社の事業活動との関わりやステークホルダーにとっての重要度(インパクト)などを勘案し、重要課題(マテリアリティ)を特定しています。本業を通じた取り組みを「当社グループが長期で達成すべき最重要課題」と定義し、それ以外の課題を、最重要課題の達成に向けた「基盤項目」と位置付けて、取り組みを強化しています。

財務・企業データ

- 95 10年間の主要財務・非財務データ
- 97 財務諸表
- 101 会社概要/株式情報/主要関係会社

ポイント

財務や非財務のデータに加えて、川崎重工グループの基本情報を掲載しています。

※ 当社グループは、2022年度より国際会計基準(IFRS)を適用しています。このため、2021年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しています。2020年度以前の財務数値は日本基準となりますが、本レポートでは、IFRSと同様の「売上収益」「事業利益」などの用語を用いています。(2020年度以前については、日本基準に準拠した「売上高」「営業利益」などの値を「売上収益」「事業利益」と記載しています。)

編集方針

川崎重工グループは、2013年度より、統合報告書として「Kawasaki Report」を発行しています。本レポートをステークホルダーの皆様とのコミュニケーション・ツールと位置付け、当社グループの社会価値創造と企業価値向上に向けた取り組み、経営方針、事業環境・戦略、および環境・社会・ガバナンスに関する情報(ESG情報)の主なものをお伝えしていきます。その他詳細な情報についても、当社Webサイトをご覧ください。



Webサイトとの情報のすみ分け

環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する詳細情報やデータは、Webサイトを都度更新することでタイムリーに開示しています。

IR情報
<https://www.khi.co.jp/ir/>

サステナビリティ情報
<https://www.khi.co.jp/sustainability/>

対象期間

2023年度(2023年4月1日~2024年3月31日)

※ 一部2024年度の情報も含む

対象範囲

川崎重工工業株式会社および連結子会社105社、持分法適用会社20社

※ 一部は単体情報

発行頻度

原則年1回発行

前回発行 2023年10月

次回発行 2025年9月予定

お問い合わせ先

当社Webサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
<https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/>

参考ガイドライン

- グローバル・レポーティング・イニシアチブ(GRI)「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- 国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」